

政務活動報告書

会派名 無所属議員 成田 大介

年月日	令和2年1月28日 ~ 令和2年1月29日			
場所 (市外の場合は 行程を記入)	往路：自宅 → 山形県遊佐町役場・生涯学習センター → 山形県酒田市(宿泊先) 復路：山形県酒田市産業振興まちづくりセンター サンロク → 自宅			
相手方 (会議名等)	1月28日 山形県遊佐町 遊佐町少年議会について 遊佐町長 時田博機 教育委員会教育課 課長補佐 後藤夕貴 1月29日 山形県酒田市 データマーケティングを活用した地域活性化について 酒田市産業振興まちづくりセンター コンシェルジュ 平尾清、議会事務局 主査 守屋淳			
参加議員名	今泉昌一(さくら未来)、竹内博之(さくら未来)			
活動の概要	別紙のとおり ※会議・研修資料等があれば、添付してください。			
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	有料道路通行料	1,980 円	1、2	
	宿泊費	5,910 円	3	
	ガソリン代	13,725 円		様式3 No.1
	合計額	21,615 円		
備考	(写真貼付等) 別紙のとおり。 ※家庭の事情により電車の発車時刻に間に合わなかったため、自家用車にて高速道路を經由し視察地へ向かった。			

行政視察の概要について

日 時	令和2年1月28日(火) 午後
視 察 先	山形県遊佐町
視察項目	少年町長・少年議員の取組について
視察内容の概要	
<p>概要</p> <p>遊佐町は山形県の最北端、秋田県との県境に位置し、人口約14,000人で面積は約208km²。出羽富士とも称される鳥海山をはじめ、町内の至る所で湧き出す伏流水など、多様な自然に恵まれた土地である。視察の目的は「遊佐町少年町長、少年議会」の取組である。今回は現町長である時田氏と、現子ども町長及び子ども議員(計3名)と直接面談し、取組について当事者より話を聞くことができた。</p> <p>「遊佐町少年町長、少年議会」とは遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生を対象とした事業であり、事業目的は主に次の3つが挙げられる。①若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶこと。②中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促すこと。③この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を相互に学ぶ場とすること(相互教育)。</p> <p>この事業の最大の取組は、子ども町長及び子ども議員たちが定期的に集まり(全員協議会)、町政発展のためのアイデア出しや議論を尽くした後、その成果物について予算処置を行っていることだ。意見を出して終わりではなく、子どもたちの意見が実際に町政運営に反映されることで、まちづくりに参画している実感を得られる。その経験が町への関心の高まりや、愛着を醸成することに繋がり、町の将来を担う人材となり得ると担当者は言う。</p> <p>現子ども町長及び子ども議員との意見交換では、学校の先生や親以外の大人と交流することや、人前で話をする機会が多いことで、「自分の意見や考えに自信を持つことができた」、「自分が本当に挑戦したいことは何かを考えることができた」など前向きな意見が沢山出てきた。また、自分たちのアイデアや意見が町政に反映さえることは「私たちの声や考えも町の発展には重要なんだ」と実感することができたと言う。</p> <p>まちづくりに主体性を持って関わることが自身の成長に繋がることを実感し、何よりもまちづくりに参画していることが楽しいというのが子どもたちから強く伝わってきた。</p>	

行政視察の概要について

日 時	令和 2 年 1 月 29 日 (水)
視 察 先	山形県酒田市
視察項目	データマーケティングを活用した地域活性化について
視察内容の概要	
<p>概要</p> <p>酒田市は、山形県の北西にある人口約 11 万人の庄内北部の都市である。県内人口は第 3 位。庄内空港と山形県唯一の重要港湾酒田港がある。</p> <p>今回の視察項目「データマーケティングを活用した地域活性化について」は東京都港区にある㈱TrueData（トゥルーデータ）とのパートナーシップ協定の締結がカギとなっている。㈱TrueData が持つ約 5000 万人の買い物情報や過去 10 年分の購買データ等のビッグデータを活用し、地元企業の事業展開サポートや、データマーケティングを行える地元人材の育成を行う。自治体とデータマーケティング企業が連携し、地場企業へデータマーケティング手法を導入し、経営サポートを行うことは全国的にも珍しい取り組みだという。そして、それら機能の拠点場所となっているのが「酒田市産業振興まちづくりセンターサンロク」である。</p> <p>今回、私たちへの事業説明を行ってくれた職員 3 名は全て外部の専門人材であり、地方銀行や経済産業省からの出向者、そしてその中心を担っているのが大学講師などを務める平尾清氏である。東京のビッグデータを取り扱う㈱TrueData が山形県酒田市とパートナーシップ協定を結ぶことができた背景には平尾氏と、㈱TrueData 社長との人的ネットワークもあった。</p> <p>本事業の最大のポイントは上記した専門人材の登用である。マーケティングや企業診断、経営者が中心となり事業を展開サポートし、市のプロパー職員は事務局的な役割を担っている。産学官民連携はそれぞれの得意分野を集積させ、地域活性化についてそれぞれが役割を果たしていく、本事業からはそれらを多分に読み取ることができた。今回の視察項目は 2019 年 6 月にパートナーシップ協定を結びスタートしたものであり、成果については今後様々な形で出てくると予想される。</p>	

行政視察所感

日時 1月28日～1月29日

1、遊佐町少年議会について（山形県遊佐町）

- (1) 時田博機町長との懇談：若者が自らの代表を直接選び政策を実現するにあたって、少年議会へは年間45万円の予算をつけている。年に3回開催される少年議会においては、町長以下課長級の職員が質問に答えている。更には月に1～2回の全員協議会も開催し、過去にはご当地キャラクターのデザインや祭りの企画・運営。昨年の実績は観光パンフレットの作成、中高生の居場所づくりとして、学習を支援し合う場の設定。更にはJR線の不便さを感じ、町内在住の高校生に実態調査アンケート・分析を行い、署名活動、全員協議会を経て、ダイヤ改正の要望書を提出し実現させるなど、主体的に政策提案、実行をしている。
- (2) 少年議会選挙：遊佐町に在住、または通学している中高生が対象となり、少年町長選挙も同時に行われる。選挙公報も発行され、投票も上記中高生が行うことにより若者による若者の選挙が実現していることは、遊佐町全体の希望になっていると感じた。
- (3) 少年議員：少年町長・副町長2名との懇談においては、町に対する想いや熱さが伝わってきた。一人ひとりが目標を持てるようになり、どの質問に対しても迷いなくはっきりと答えてくれた。常に全力投球で打ち込んできているからこそ、本気で関わっているからこそ、将来の夢も曇りなく答えることが出来る。その姿からは、少年議員としての誇りと自信を感じた。
- (4) 町議会：子ども扱いするのではなく、その声にしっかりと耳を傾けている。教育委員会が中心となっはいるが、サポート役に徹していると感じた。町議会議員とも意見交換をすることもあるようだが、町議側でも子ども扱いをせずに白熱した議論をしているようであった。
- (5) 当市においても子ども議会は開催しているが、スローガンを決める一日だけである。今後はもう少し若者の声に耳を傾け、それを市政に反映出来るような場面をつくって行きたいと感じた。

2、データマーケティングを活用した地域活性化について(山形県酒田市)

- (1) 地方の中小企業にとっては大手企業を敬遠してしまいがちだが、そこを逆にとり、ニーズに合った情報を確保し提供している。ワンストップでの機能を、マッチングコンシェルジュと言われる5人の外部メンバーが中心となり、それぞれの分野でのニーズとシーズを繋いでいる。地方の経営者が抱えているであろう不安を解消できるのではないかと期待を感じた。
- (2) 庁舎内にコワーキングスペースをつくり、土日も含め21時まで開放し、率先して手本を示していると感じた。
- (3) ビックデータを活用するべく大手データマーケティング企業とのパートナーシップ協定を昨年6月に締結した。コンシェルジュの人脈も駆使しながら地方企業が抱える不安を解消するべく、スピード感をもって取り組んでいる。今後の展開に注意したい。



AMAGATA-UZA



鳥辺山

山形県遊佐町

町長 時田博機

〒999-8301

山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴211

TEL: 0234-72-3311(代)

FAX: 0234-72-3310



ハクサンイチゲ

山形県遊佐町
教育委員会教育課

課長補佐 兼
社会教育係長

後藤夕貴



コンシェルジュ

平尾 清

Hirao Kiyoshi

SANROKU

酒田市産業振興まちづくりセンター

〒998-0044

山形県酒田市中町 2-5-10 酒田産業会館 1F

Mobile. [REDACTED]

Tel. 0234-26-6066

Fax. [REDACTED]

E-mail. [REDACTED]

www.facebook.com/co.sanroku

sanroku.jp



酒田市議会事務局

議事調査係

主査兼係長 守 屋 淳

〒998-8540 山形県酒田市本町二丁目 2 番 45 号

TEL 0234 (26) 5770 FAX 0234 (26) 5790

E mail: [REDACTED]